National
松下電工

保証書別添
保管用

一般家庭用・屋外設置型

ナショナル
生ごみイーター

品番　TK400-H　1200タイプ

取扱説明書

もくじ

安全上のご注意	1~2
各部のなまえ	3~4
表示ランプの説明	5~6
設置のしかた	7~8
ご使用前の準備 使いはじめのご注意	9~10
日常の使いかた	11~12
投入できるもの・できないもの 生ごみの上手な投入のしかた	13~14
こんなときはどうすればいいの？	15~16
コンポスト（処理物）の取り出しかた コンポストの処置方法	17~18
バイオボールの追加方法	19~20
お手入れのしかた 別売品	21~23
故障かな？と思ったとき ●定格・仕様	24~26
保証とアフターサービス	裏表紙

お買い上げありがとうございました。よくお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。
生ごみイーターについてのご不明点があればフリーダイヤル（無料）0120-27-3897をご利用ください。
受付時間9:30～12:00・13:00～17:00　祝祭日以外の月～金（ただし休みの場合がございます）

■安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「**警告**」「**注意**」に区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ **警告**	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
⚠ **注意**	人が傷害を負う危険および物的損害の発生が想定される内容

絵表示の例

⃠ 記号は、**禁止**の行為を示しています。
左図の場合は分解禁止が描かれています。

❗ 記号は、行為を**強制**したり**指示**したりするものです。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告

電源コードについて

必ず守る	●**コンセント部にホコリがついた場合は、電源プラグを抜いて乾いた布でふきとる** 湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります
	●**電源プラグは根元まで確実に差し込む** 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります
	●**防水コンセントを使用する** 守らないと感電や漏電火災の原因となります
	●**必ず交流100Vで使用する** たこ足配線等で、定格を越えると、発熱による火災の原因となります
禁止	●**傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しない** 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります
	●**コードを途中で接続したり、延長コードを使用したりしない** 感電や発熱による火災の原因となります
	●**電源コードを破損するようなことはしない（傷つけ、加工、無理な曲げ、引っ張り、ねじり、重いものをのせる、挟み込むなど）** 感電・ショート・発火の原因となります
	●**たこ足配線をしない** 発熱による火災の原因となります
ぬれ手禁止	●**ぬれた手で、電源プラグに触れない** 感電のおそれがあります

取り付けについて

必ず守る	●**直接雨ざらしになる場所や雨水がたまり水浸しになる場所で使用しない** 感電や漏電火災の原因となります
禁止	●**ベランダの手すり側に置かない** お子様が本体に乗り転落事故の原因となります

⚠警告

取り扱いについて

禁止	●**本体および処理槽内を水洗いしない** 感電や漏電火災の原因となります
	●**本体や処理槽には、灯油・ガソリン・LPガス・シンナー・アルコールなどやそれらが付着したごみを絶対に入れたり近づけたりしない また、可燃性の殺虫剤・消臭剤などをスプレーしない** 爆発や火災の原因となります
	●**本体の上に乗ったり、腰かけたり、重いものを載せたりしない** 変形・破損・転倒によりケガをするおそれがあります
	●**幼児にさわらせない** ケガをすることがあります
	●**本体に磁石などを近づけない** 誤動作を起こし、ケガの原因となります
分解禁止	●**本機の分解・改造は絶対に行わない** 火災・感電のおそれがあります 修理はお買い上げの販売店またはお近くの松下電工お客様ご相談窓口にご相談ください

バイオチップ等について

禁止	●**バイオチップ・バイオボール・バイオ立上げ剤・コンポスト（処理物）を目や口に入れたり、素手でさわったりしない バイオチップ・バイオボール・バイオ立上げ剤・コンポスト（処理物）に触れた時は必ず手を洗ってください** 生ごみを投入後のバイオチップ・バイオボール・バイオ立上げ剤及びコンポストは土や堆肥と同じです 衛生上好ましくありません
接触禁止	●**通電中および電源プラグを抜いてから1時間以内はバイオチップや処理槽の内部に顔や手などを入れない** 熱をもっているため火傷やケガをするおそれがあります

⚠注意

電源コードについて

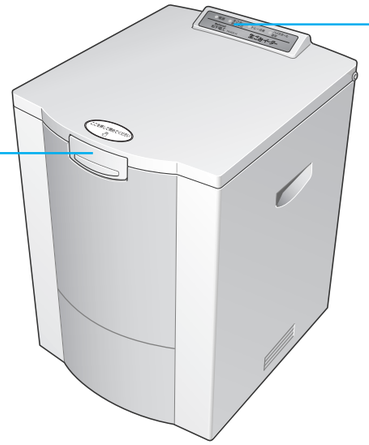
必ず守る	●**コンセントから電源プラグを抜く場合は必ず電源プラグを持って抜く** コードを引っ張ると破損し、感電・ショート・発火の原因となります

取り付けについて

必ず守る	●**ブロックまたは専用架台の上に設置する**（☞7ページ） 直置きすると冠水による感電や、排気ができず故障や過熱の原因となります
禁止	●**本体を傾いた状態で設置しない** 本体が転倒し、事故のおそれがあります
火気禁止	●**火気の近くに設置しない また可燃性のものや火のついたたばこなどを投入しない** 本体の変形によるショート・発火の原因となります

■各部のなまえ

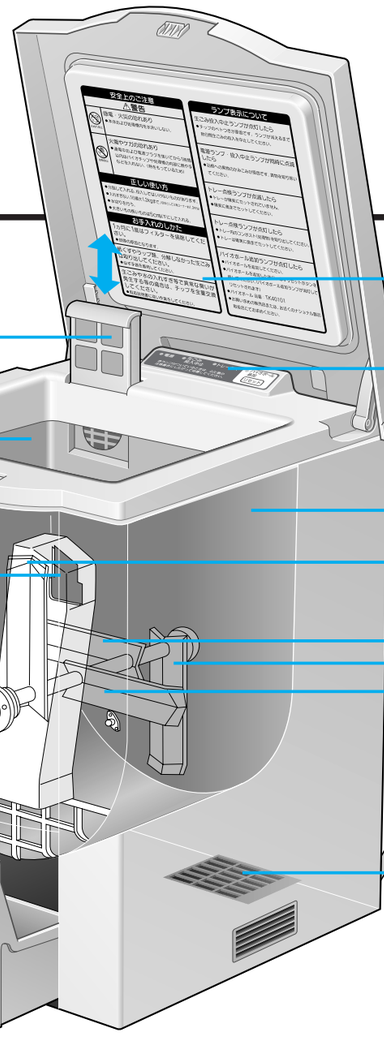
本　体 ふたを閉めた状態



ふたワンタッチボタン

表示パネル

本　体 ふたを開けた状態



フィルター（吸込口）

投入口

ふたワンタッチボタン

オーバーフロー窓

トレー
処理槽内の余分なコンポスト（処理物）がオーバーフロー窓からあふれ落ち、トレーにたまります。
※生ごみを分解処理後トレーにたまる処理物などをコンポストと呼びます

ふた

操作パネル

処理槽

ミキシングフィン（撹拌羽根）
ふたを閉めると約2分間撹拌し、その後は1～2時間毎に約1分間撹拌します
ふたを開けると安全のため、撹拌が自動的に止まります

電源プラグ

排気口（底面）

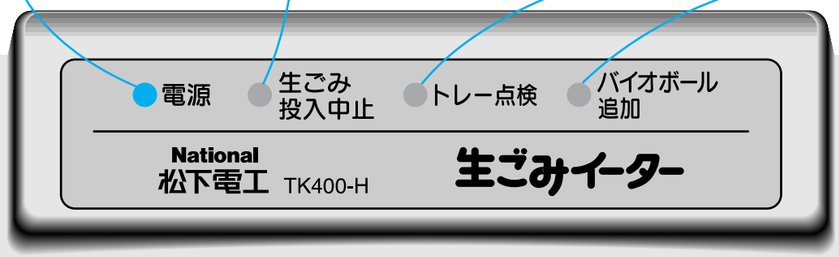
表示パネル（ふた面） ふたを閉じた状態で運転状況が確認できます

電　源 ランプ
電源プラグをコンセントに差し込むと、通電状態となり、電源ランプが点灯します。

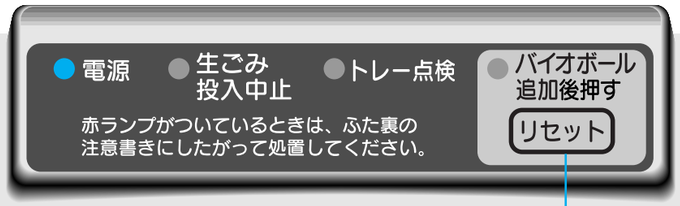
生ごみ投入中止 ランプ
運転中、水分センサーの働きにより、バイオチップの状態を検知してお知らせします。
（☞5ページ）

トレー点検 ランプ
コンポスト（処理物）の取り出し時期を点灯してお知らせします。
（☞5ページ）

バイオボール追加 ランプ
バイオボールの追加時期を点灯してお知らせします。（☞5ページ）



操作パネル（本体内） 操作はふたを開けて行います



リセットボタン
バイオボールを追加した後に、**必ず押してください**
（バイオボール追加ランプが消灯してリセットされます）

同梱品（処理槽内部に入れてあります。電源を入れる前に必ず取り出してください。）

バイオチップ　1袋

（約10L）

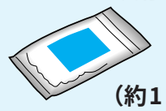
オガクズに似た多孔質の木片で特殊加工したもの。微生物を活発化する為に必要です。

バイオボール　1袋

（約750mL）

表面、内面に微細な気孔を持ったセルロース粒子です。バイオチップを長保ちさせます。バイオボールは生分解性の地球にやさしい素材です。

バイオ立上げ剤　1袋



（約120g）

使い始めの期間に微生物が活発化する手助けをします。

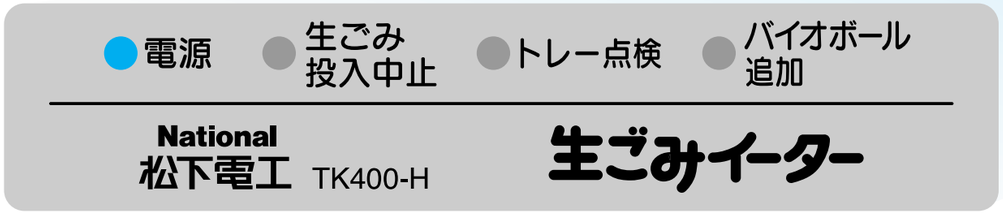
上手な使い方シート 1部

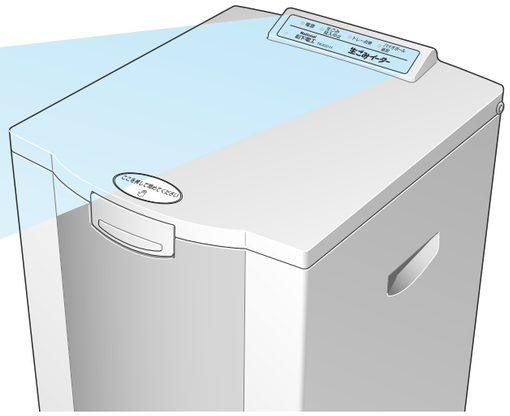
上手に使っていただくためのマニュアルです。付属のPH試験紙（黄色）を用いてバイオチップのPHを測定します。

表示ランプの説明

点灯・点滅した場合、各部分の点検・保守を行ってください

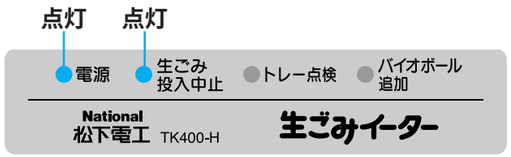
通常運転中（ふたが閉められた状態）にバイオチップの状態、本体の運転状態に変化があれば表示ランプが点灯・点滅してお知らせします





点灯した場合（お手入れが必要です）

生ごみ投入中止ランプが点灯した場合



バイオチップがベタついている

生ごみの入れすぎです。生ごみの種類・水分の量によっても生ごみ投入中止ランプが点灯します。
（そのまま入れつづけると、においの原因になります）

↓

ランプが消えるまで投入を控えてください
投入を控えても生ごみ投入中止ランプが消えない場合は水分センサーにチップが付着していないことを確認してください（☞21、22ページ）

トレー点検ランプが点灯した場合

トレーが満杯になっている

↓

コンポスト（処理物）を取り出してください
取り出したコンポスト（処理物）は…
・園芸用の堆肥としてご使用できます（☞18ページ）
・可燃ごみとして処分できます

バイオボール追加ランプが点灯した場合

バイオボール追加の時期です

↓

バイオボールを追加してください（☞19、20ページ）

点滅した場合（点検が必要です）

電源ランプ・生ごみ投入中止ランプが点滅した場合

電源プラグを抜いて、約1時間放置してから、次の処置を行ってください

●チップがカラカラに乾燥している

↓

水約500mLをじょうろなどで均一に散水し、電源プラグを差し込んでください

●水分センサーにチップが付着している

↓

チップを全量取り出し、付着したチップを割り箸などを利用して取り除いてください（☞22ページ）

●本体内部に異物がひっかかっている

↓

異物をとり除いて電源プラグを差し込んでください（☞22ページ）

●チップがだんご状に固まっている

↓

小さいスコップなどでだんご状に固まっているチップをほぐし、電源プラグを差し込んでください

トレー点検ランプが点滅した場合

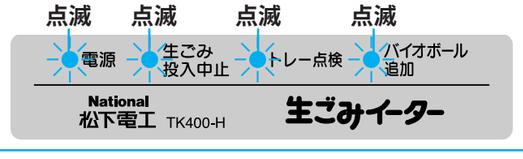
トレーが開いている

（このとき撹拌は安全のため停止します）

↓

トレーを奥まで確実にセットしてください

点検表示ランプ全てが点滅した場合



販売店に点検を依頼してください
（電源プラグは安全のため抜いてください）

■設置のしかた

電源を入れる前に処理槽内からバイオチップ・バイオボール・バイオ立上げ剤を必ず取り出してください

■設置場所

風通しの良い屋外に設置してください

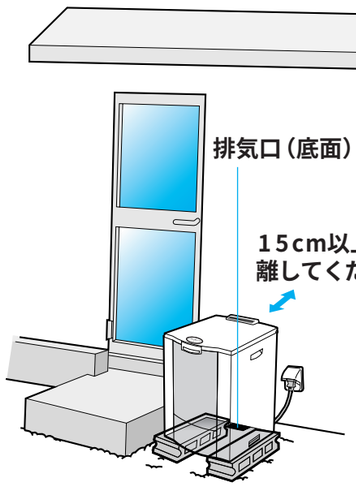
- ●室内やお隣りへ、においが流れない場所を選んでください
- ●窓のすぐ近くや換気扇の吸込口の近くに設置すると、風むきにより、においが室内に入ってきますので窓から離してください
- **●室内・ガレージ・物置などへの設置は、においがこもりますので避けてください**
- **●直接雨ざらしにならない場所に設置してください（ベランダ・軒下など）**

※直接雨ざらしになる場所に設置すると、機能的に問題はありませんが商品寿命が短くなります。

戸建住宅の場合

雨水がたまり水浸しにならない場所に設置してください

※排気口の下に草などある場合は、排気口をふさぐおそれがあるため草が生えない処理をして設置してください。

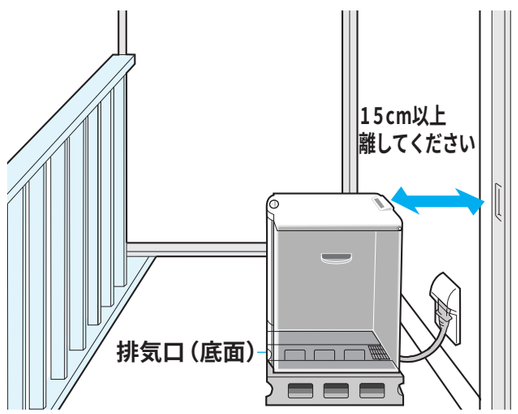


マンション（ベランダ）の場合

屋側の避難経路や消防隊進入の障害にならない場所に設置してください

⚠警告

ベランダの手すり側には設置しない
お子様が本体にのり転落事故の原因となります



■設置のしかた

直置きしないで必ず専用架台または市販のブロックを敷いてください

- ●積雪・たまった雨水・草等で排気口（底面）がふさがると、排気できずに故障や過熱の原因になります

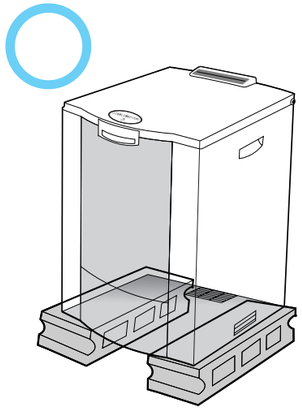
本体はできるだけがたつかず、水平になるように設置してください

- ●傾いた状態ですと転倒し、事故のおそれがあります

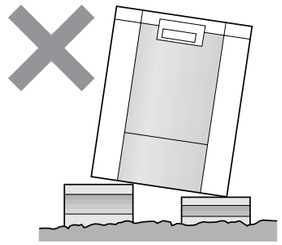
壁から15cm以上離し、排気口（底面）付近に物を置かないでください

強風の時は、ふたが開かないようにガムテープなどで止めてください

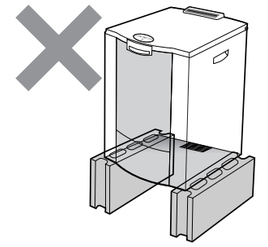
正しいブロックの置き方



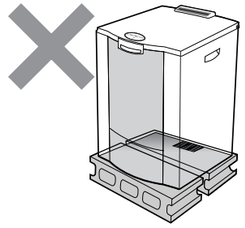
- ●本体ががたつがず、水平になるように設置する
- ●ブロックは横置きにし、安定させる
- ●排気口をふさがないように並べる



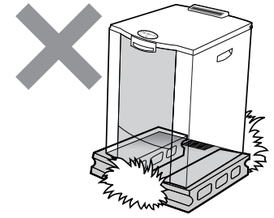
●水平になっていない



●縦置き



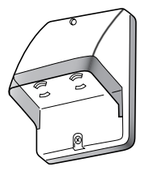
●排気口がふさがっている



必ず防水コンセントを使用してください

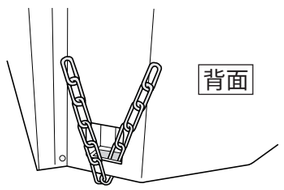
松下電工　品番WK2103
　　又はWK2101
アース端子付　WK2113
　　WK2111も使用可

- ●防水コンセントが無い場合は、販売店にご相談ください



■盗難防止のために

- ●盗難防止が必要な場合は市販のチェーン等をお買い求めの上、穴に通して利用ください



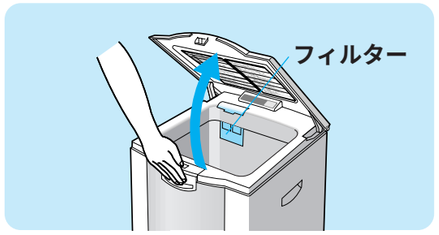
別売品

専用架台をお求めの際はお買い求めの販売店または、お近くのナショナル製品取扱店にてお求めください

■ご使用前の準備

生ごみを投入する前にバイオチップ・バイオボール・バイオ立上げ剤を投入してください

1 ふたを開ける

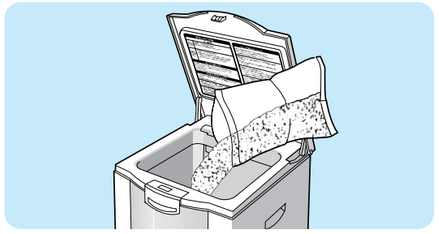


●フィルターが奥まで入っているかを確認する

2 バイオボールを入れる

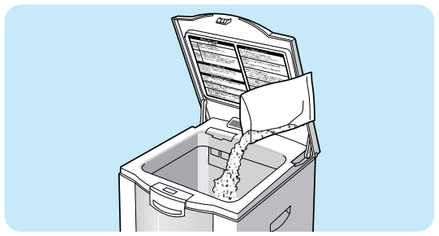
●処理槽内に全量（1袋）入れる
●バイオチップの混ざりをよくするためバイオボールを先に入れてください

3 バイオチップを入れる



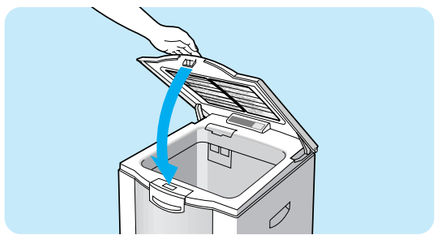
●処理槽内に全量（1袋）入れる

4 バイオ立上げ剤を入れる



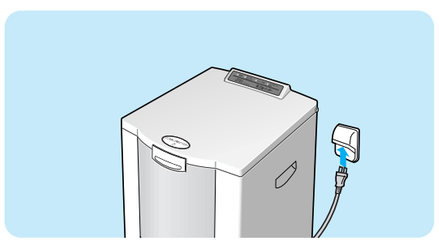
●処理槽内に全量（1袋）入れる

5 ふたを閉める



●カチッと音がするまで確実に閉める

6 電源プラグを差し込む



●本機の電源が入ります⇨電源ランプ点灯
（電源を入れると内部の吸気ファンが常時運転します）
●バイオチップ、バイオボールが新しい間（1週間程度）はコスレ音（撹拌時にキューという音）がしますが、異常ではありません

以上で準備が終わりました。使いはじめのご注意をお読みの上、生ごみを投入してください。

■使いはじめのご注意

■使い始めに必ず守っていただきたいこと

使い始めの期間（夏期：5～7日間、冬期：7～10日間）は以下のことを必ず守ってください。

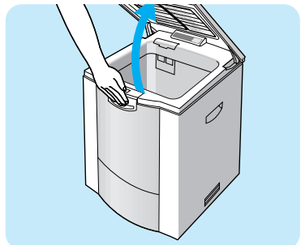
⇨最初バイオボール、バイオチップには微生物は存在しません。本機は投入される生ごみに付着している微生物を利用するため、その微生物を活発化、繁殖させる期間が必要です。

●毎日約300～700gの生ごみを入れる（三角コーナー約半分程度）

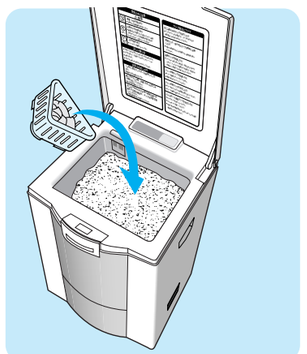
●でんぷん質（ごはん、うどん）ばかり入れない

守らないと微生物の活性化、繁殖が遅れ、においが強くなったり、充分に生ごみの分解ができません

1 ふたを開ける



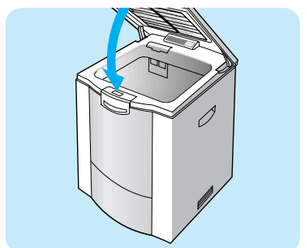
2 生ごみを入れる



上手に生ごみを投入しましょう。
生ごみの投入のしかた（☞13、14ページ）

●処理槽の奥に生ごみを入れてください
（手前に入れると処理前の生ごみがオーバーフロー窓から誤って落下する場合があります）

3 ふたを閉める

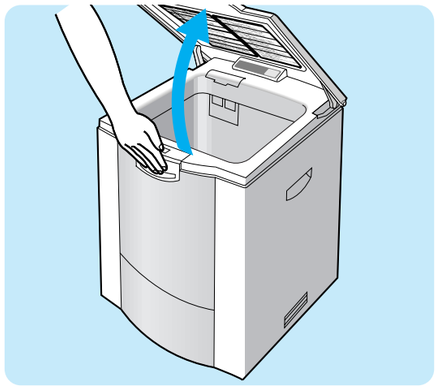


●カチッと音がするまで確実に閉める

●一定時間自動的に撹拌します
（ふたを閉じた時、約2分間撹拌、その後は1～2時間毎に約1分間撹拌します）

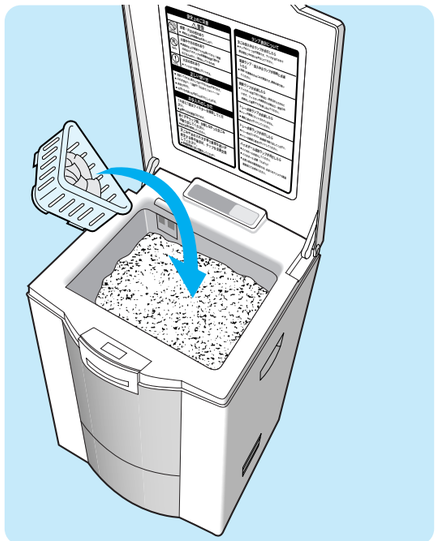
■日常の使いかた

1 ふたを開ける



●本体内から水蒸気やふたに水滴が（冬場は特に）発生することがありますが、異常ではありません

2 生ごみを入れる

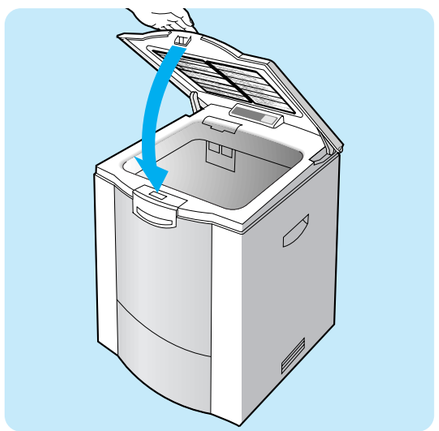


上手に生ごみを投入しましょう。
生ごみの投入のしかた（☞13、14ページ）

●処理槽の奥に生ごみを入れてください
（手前に入れると処理前の生ごみがオーバーフロー窓から誤って落下する場合があります）

●投入口の周囲や本体の表面が少しあつく感じることがありますが、異常ではありません
（バイオチップの中の微生物の活動を活発にするために加温しています）

3 ふたを閉める



●カチッと音がするまで確実に閉める

●一定時間自動的に撹拌します
（ふたを閉じた時、約2分間撹拌、その後は1～2時間毎に約1分間撹拌します）

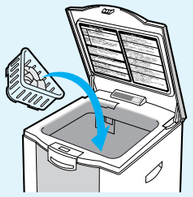
使い始めから通常使用までのサイクル

運転準備
●**バイオチップ・バイオボール・バイオ立上げ剤の投入**（☞9ページ）

最初バイオボール・バイオチップには微生物は存在していません。投入される生ごみに付着している微生物が活発化して繁殖しますので、生ごみを必ず毎日投入してください。

●**この間生ごみは、300～700g（三角コーナー半分程度）を必ず毎日投入する**
でんぷん質（ごはん・うどん）ばかりを続けて投入しないでください
（守らないと微生物の活発化が遅れ、においが強くなったり十分に生ごみの分解ができません）

生ごみ投入
（日常の使いかた ☞11ページ）



●**通常の1日の投入量**
最大1.2kgまで
三角コーナー約1.2杯

●**生ごみ投入中止ランプが点灯したら** ⇨ ランプが消えるまで（数日間）投入を控える（☞5ページ）
（生ごみの種類、水分の量によって点灯します）

●**トレー点検ランプが点灯したら** ⇨ コンポスト（処理物）を取り出す（☞17ページ）
（コンポスト（処理物）の取り出し時期は生ごみの投入量 によって異なります）

バイオボールの追加 ⇨ バイオボール追加ランプ点灯（☞19ページ）

使い始め

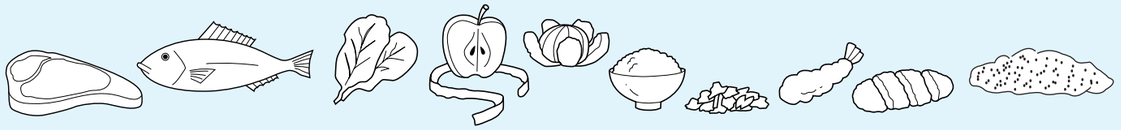
バイオチップの中の微生物が活発化するまでの時間
夏期：5～ 7 日間
冬期：7～10日間

通常使用

約3ヵ月後

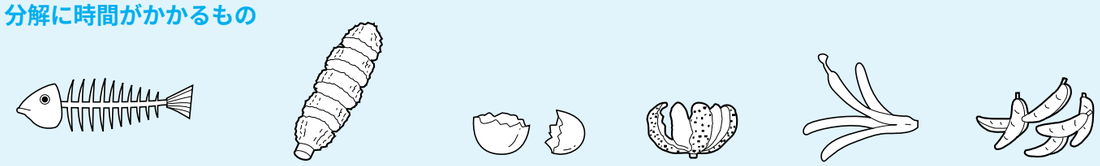
■投入できるもの・できないもの

○投入できるもの



肉　魚　野菜　果物　穀物・茶かす　てんぷら・揚物　コーヒーかす

分解に時間がかかるもの



魚・鶏の骨・カニ エビのカラ　トウモロコシの芯　卵のカラ　ミカンの皮　バナナの皮　豆類の皮

⇨分解に時間がかかりますので、時々取り除いてください（☞16ページ）

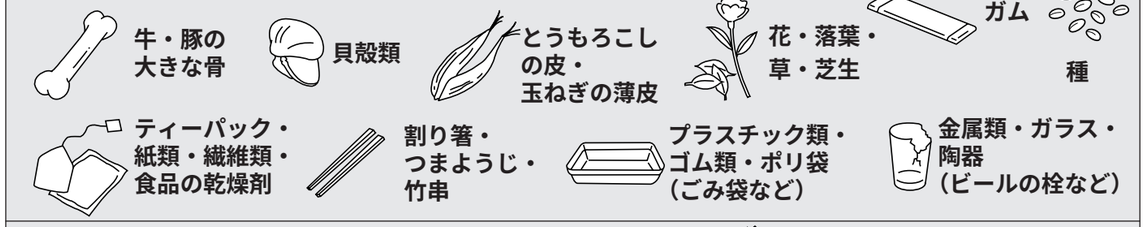
その他、一般的に人が食べられるもの

においが気になる時はP15を参照してください

- においの強いもの、一度に多量の魚やイカのアラなどを入れないでください
  （においがすることがあります。アラは1日300g以下が目安です）

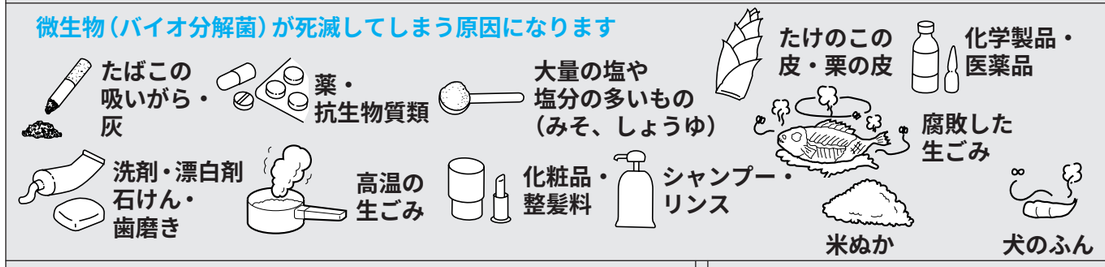
×投入してはいけないもの

内部にたまって故障の原因になります



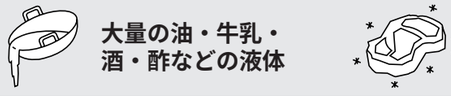
牛・豚の大きな骨　貝殻類　とうもろこしの皮・玉ねぎの薄皮　花・落葉・草・芝生　ガム　種　ティーパック・紙類・繊維類・食品の乾燥剤　割り箸・つまようじ・竹串　プラスチック類・ゴム類・ポリ袋（ごみ袋など）　金属類・ガラス・陶器（ビールの栓など）

微生物（バイオ分解菌）が死滅してしまう原因になります



たばこの吸いがら・灰　薬・抗生物質類　大量の塩や塩分の多いもの（みそ、しょうゆ）　たけのこの皮・栗の皮　化学製品・医薬品　腐敗した生ごみ　洗剤・漂白剤 石けん・歯磨き　高温の生ごみ　化粧品・整髪料　シャンプー・リンス　米ぬか　犬のふん

内部がベタつき、においの原因になります



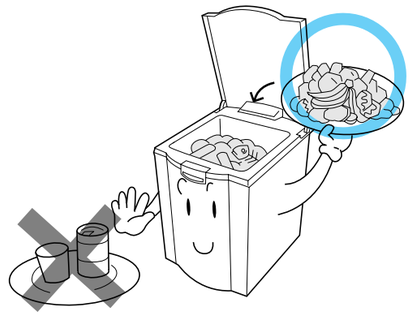
大量の油・牛乳・酒・酢などの液体　凍った食品

その他、人が食べられないもの

誤って多量の生ごみを投入した場合はバイオチップの交換が必要になる場合があります

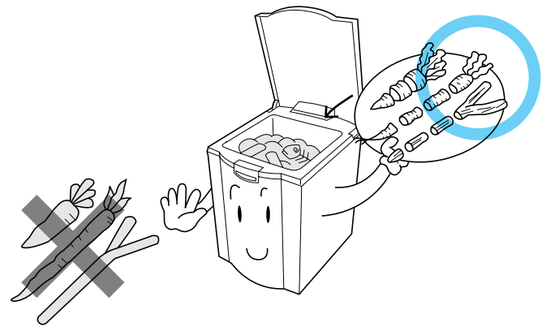
■生ごみの上手な投入のしかた

分別して入れる



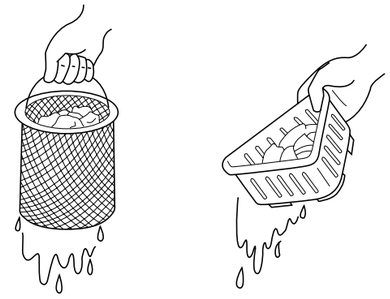
- 投入できるものと、投入してはいけないものがありますので、あらかじめ必ず分別してください
- ポリ袋や紙の水切り袋のまま入れないでください
  （撹拌羽根にからまり、故障の原因となります）

硬くて大きいものや長いものは小さくする



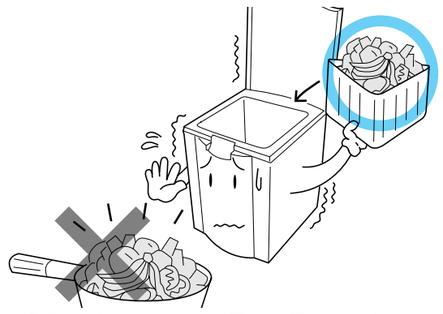
- かぼちゃなど大きくて硬いものや、果物の皮・長ねぎの白根など丈夫な繊維質の長いものは小さく5cm程度に切ってから入れてください
  （撹拌羽根にからまり、回転を妨げ撹拌異常の原因になります）
- おにぎりのようなだんご状のものは、分解しやすくするためにほぐして入れてください
  （においの原因になります）

水切りを行う



- 生ごみを投入するときは、なるべく水がたれない程度に水切りをしてください
  （水切りが不十分ですとベタベタになり、においの原因になります）

入れ過ぎない〈1日最大1.2kgまで〉



- 1日に投入できる生ごみの量は、最大1.2kgまでです
  三角コーナーに約1.2杯分を目安にしてください
- 1日に1.2kg以内の範囲で、2～3回に分けて投入することをおすすめします
- 1.2kg以上投入するとバイオチップがベタつき処理が遅くなり、においの原因になります
- でんぷん質（ごはん・うどん）ばかりを続けて投入しないでください　においの原因になります
- 生ごみの種類、水分の量によって生ごみ投入中止ランプが点灯します（☞5ページ）

こんなときはどうすればいいの？

においが気になるとき

■使い始めのとき

最初はバイオチップの中の微生物が少なく、活発に生ごみを分解処理するようになるまで（微生物を育てる）時間が必要です**（夏期：5〜7日間　冬期：7〜10日間）**
この間投入した生ごみが分解せずに残ったり、においが強くなることがありますが微生物が活発化すれば無くなりますので異常ではありません

■生ごみを入れ過ぎたとき・生ごみの水切りが不十分なとき

生ごみを入れ過ぎたり、水切りが不十分な場合、微生物が分解しきれなくなり、においが発生します。
生ごみの投入を**2〜3日間**やめてください。

●上記の処置を行ってもにおいが気になる場合は、状況に合わせて別売品のPH安定剤または バイオチップ分解促進剤をお買い求めの販売店、またはお近くのナショナル製品取扱店にて 購入してご使用ください
（付属のPH試験紙を用いてバイオチップのPHを測定してください）

PH試験紙が黄色の場合

●全般的にでんぷん質（ごはん・うどん）の割合を多く投入したとき
●水分の多い生ごみを入れすぎてバイオチップがべたついているとき

PH安定剤（別売品）を1袋使用する

PH試験紙が赤色の場合

●全般的にタンパク質（魚介類のアラ）の割合を多く投入したとき

バイオチップ分解促進剤（別売品）を1袋使用する

●なおにおいが気になる場合は、バイオチップおよびバイオボールを全量新しいものに交換してください。（☞22ページ）

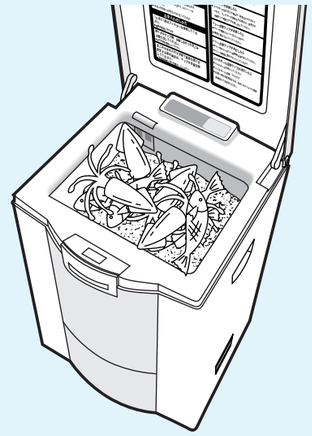
●PH試験紙は「上手な使い方シート」に添付してあります。

処理槽内に異物・未分解物が目立つとき

●処理槽内の異物・未分解物を、取り除いてください

・投入出来る生ごみで硬くて大きいものや長いものを入れてしまった時
・投入出来る生ごみで分解に時間がかかるものを大量に入れてしまった時
・間違って分解出来ないものを入れてしまった時

（処理槽内に異物・未分解物が多いと、処理物がオーバーフロー窓からうまく落下できず、充分に生ごみの分解が出来なくなったりにおいの原因になります。）



●異物・未分解物を取り除くときは、ミキシングフィンに気をつけて手袋をして作業をしてください（☞22ページ）

・必ず電源プラグを抜いてください。
・未分解物に触れた時は必ず手を洗ってください。

バイオチップがカラカラの乾燥状態になっているとき

●水を約500mL程度均一にバイオチップに散水してください。
●2〜3日間は700g程度の投入に控えてください。

バイオチップがべたついたり、団子状になっているとき

●生ごみの投入を2〜3日間控えてください。
●団子状のものが目立つ場合は、スコップ等でほぐすか、取り除いてください。

長期間使用しないとき

■1ヵ月以内の期間で使用しない場合

●電源は切らないで下さい。
電源を切ると、生ごみの分解が途中で止まってにおいが発生します。
3〜6日間使用しないとそれ以後、自動的に最小限の維持運転に切り替わります。

■1ヵ月以上の期間使用しない場合

●必ず電源プラグを抜き、中身（バイオチップ、バイオボールなど）を取り出して下さい。
（取り出しかたは☞22ページ）

■コンポスト（処理物）の取り出しかた

トレー点検ランプが点灯しコンポスト（処理物）の取り出し時期をお知らせします

（トレー内のコンポスト（処理物）が満杯になるとセンサーが検知し、トレー点検ランプが点灯します）

初回の取り出し時期の目安：約1ヵ月〜3ヵ月
2回目以降の取り出し時期の目安：約1週間〜3週間

コンポスト（処理物）の取り出し時期は生ごみの投入量によって異なります

- ポリ袋・手袋・小さいスコップを用意してください
- コンポスト（処理物）を取り出すときは手袋を着用してください

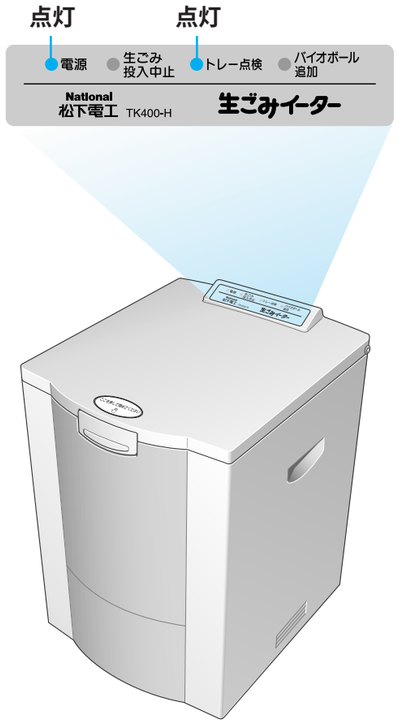
■コンポスト（処理物）が貯まりにくいとき

- 肉・魚・野菜等の分解されやすい生ごみは炭酸ガスと水に分解されるためコンポストが貯まりにくくなります。

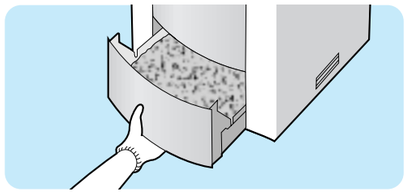
※生ごみ投入後未分解物がコンポスト（処理物）としてトレー内へ蓄積させます。

- コンポストが貯まっていないが堆肥として使いたい時は、処理槽内の上側から取ってご使用ください。

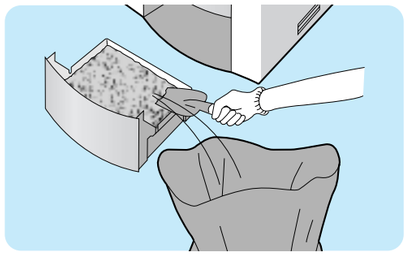
※取り過ぎに注意してください。（目安1L程度まで）



1 トレーを引き出す

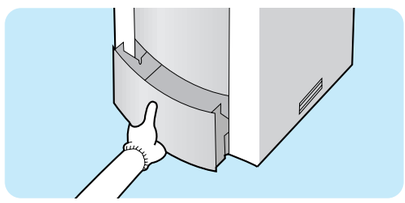


2 コンポスト（処理物）をポリ袋に取り出す



- コンポスト（処理物）に触れた時は必ず手を洗ってください（土や堆肥と同じです）

3 トレーを本体にはめる

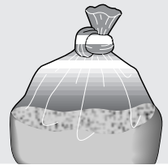


- トレー点検ランプが消灯していることを確認してください
- トレーを本体にはめた後、トレー点検ランプが点滅している場合は、トレーを奥まで確実にセットしてください

（トレーをセットした時約2分間撹拌、その後は1〜2時間毎に約1分間撹拌します）

■コンポスト（処理物）の処置方法

1 可燃ごみとして処分する

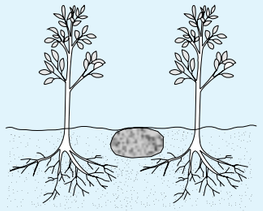


2 堆肥として使用する

未熟な堆肥を使用すると、有機物が微生物に分解されるときチッ素が消費されますすると、一時的に土の中が、チッ素不足となり植物に悪影響をおよぼすことがありますので、植物の根の付近に未熟な堆肥を使用しないでください

使用方法1 庭や畑で園芸をされる方

●コンポストをそのまま埋め、堆肥として使用



植物の周囲にあまり近づけないように適量埋めてください

※堆肥化をすすめる微生物が植物の生育に影響を及ぼす場合があります

※団子状の固まりがある場合はほぐしてから埋めてください

●完熟肥料を作る

まいたコンポスト（処理物）を覆いかぶせるように土をまきます。約1ヵ月で完熟肥料となります

※完熟肥料にしたものであれば、直接植物の根に触れても生育に影響を及ぼしません。

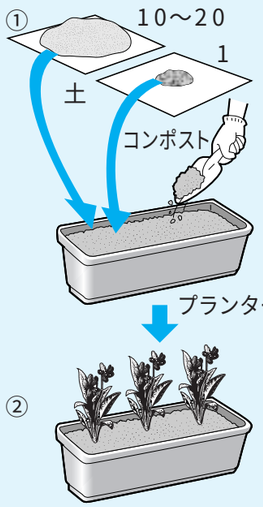
完熟肥料の見分け方

- 色が黒褐色で土のにおいがする（いやなにおいがしません）

使用方法2 ベランダで園芸をされる方（完熟肥料を作り、肥料として使用）

●プランターを使用する場合

※ビニールシートや新聞紙を敷いて作業すると周囲をよごしません



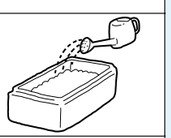
①コンポストの10〜20倍の土と混ぜ合わせよく混ぜあわせ、約1ヵ月間放置する

※日陰で風通しの良い雨水のかからないところに置いてください

※発泡スチロールを使用する場合は底に水が抜ける程度の穴をあけて使用してください

②苗を植える

●プランターを使用しない場合

	ビニール袋	プランター 発泡スチロール
①容器の底に穴をあける	下側に20cm間隔	ドライバーで穴をあける
②土とコンポストを入れよく混ぜる	土（10〜20）・コンポスト（1）	
③次に湿らす程度にじょうろで散水する		
④フタを締めて日陰で保管する（1ヵ月）		

●日陰か軒下等で熟成される

●途中、時々土をよく混ぜて散水すると、分解がはやくなる

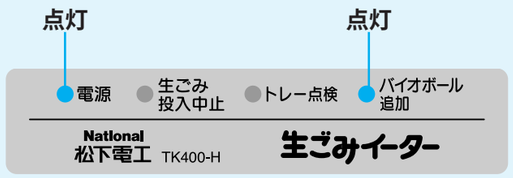
■バイオボールの追加方法

性能維持のため必ず3ヵ月ごとにバイオボールの追加をしてください

（バイオボールを追加しないと、においが強くなったり十分な生ごみの分解ができません）

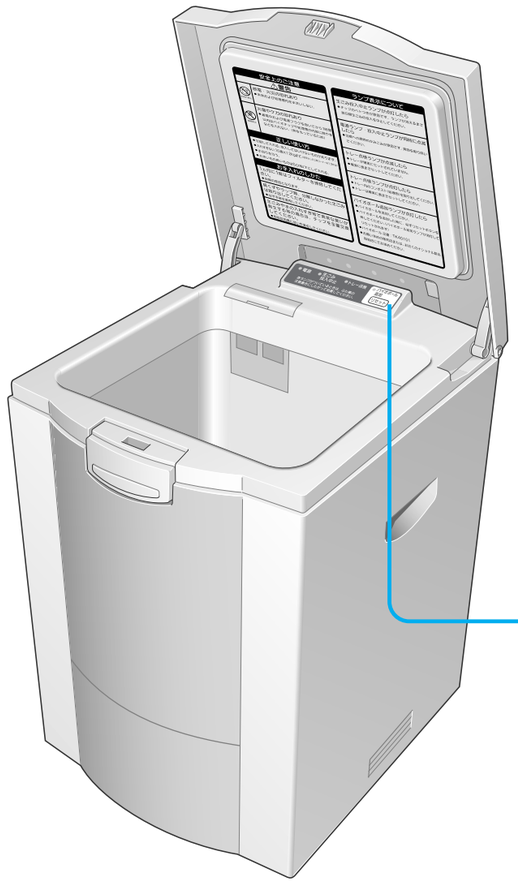
使い始めて約3ヵ月経過すると、バイオボール追加ランプが点灯しバイオボールの追加をお知らせします

（点灯時期は目安です。積算タイマーにより電源プラグを差し込んでから約3ヵ月後に点灯します
電源プラグの抜き差しを行った場合や停電などの場合はリセットされます）



また使用条件、生ごみの種類、量によって次のように変化した場合はバイオボール追加ランプが点灯しなくてもバイオボールを追加してください

- バイオチップがひんぱんに、だんご状の固まりになる
- 分解されにくい生ごみが目立つようになる
- においが強くなる



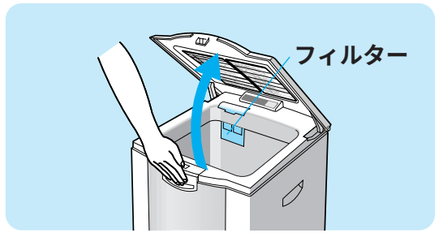
お願い

- バイオボールは必ず専用のものをお使いください
- 追加用バイオボールは子供の手の届かない直射日光の当たらない場所で保管してください

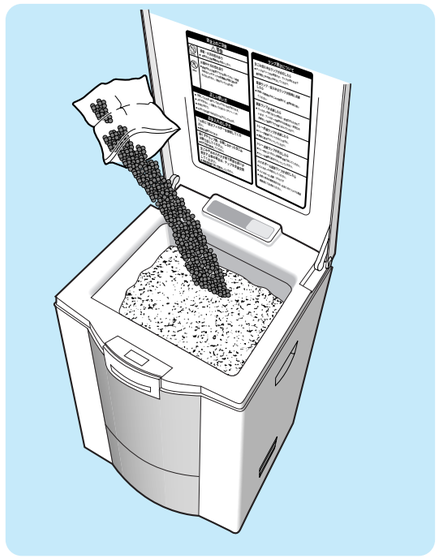
別売品

追加用バイオボールをお求めの際は、お買い求めの販売店または、お近くのナショナル製品取扱店にてお求めください

1 ふたを開ける



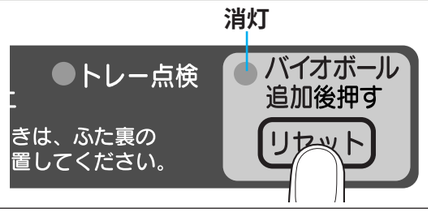
2 バイオボールを入れる



- 処理槽内に全量（1袋）入れる
- 処理槽の奥にバイオボールを入れてください。

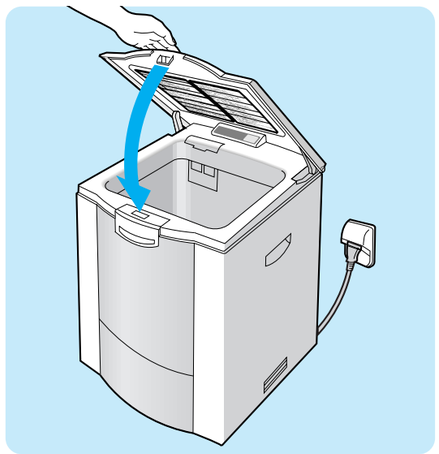
（手前に入れるとバイオボールがオーバーフロー窓から誤って落下する場合があります）

3 リセットボタンを押す



- バイオボール追加ランプが消灯していることを確認する

4 ふたを閉める



- カチッと音がするまで確実に閉める
- 運転を開始します

お手入れのしかた

■まずはじめに電源プラグを抜き、1時間以上待ってください

⚠警告

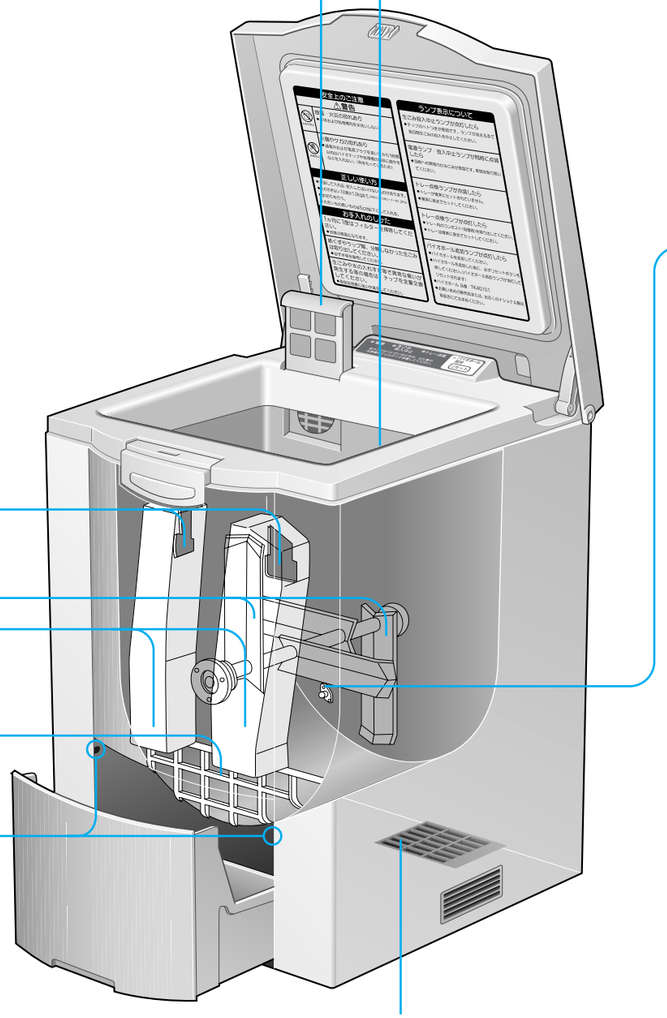
通電中および電源プラグを抜いてから1時間以内はバイオチップや処理槽の内部に顔や手などを入れない
●熱をもっているため火傷やケガをするおそれがあります

本体及び処理槽内を水洗いしない
●感電や故障の原因となります

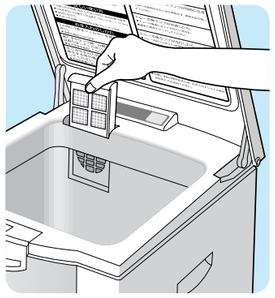
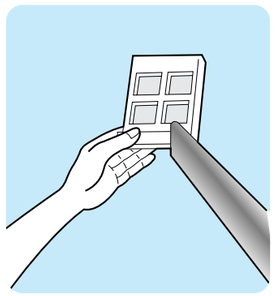
本体のお手入れのしかた
（外装・ふた・投入口・トレーのまわりなど）

●**虫が寄りつかないようにするためにうすめた中性洗剤で、付着したごみ・汚れを拭きとってください**

ベンジン・シンナーなどで本体を拭かないでください
変形・変色の原因となります



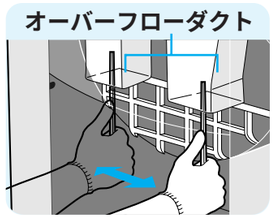
フィルターのお手入れのしかた（目安は月１回程度）

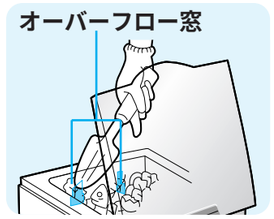



●**フィルターを取り出し、掃除機でホコリを取り除くか水洗いを行ってください**
水洗いをされた場合は乾いたことを確認してからセットしてください

フィルターは確実にセットしてください

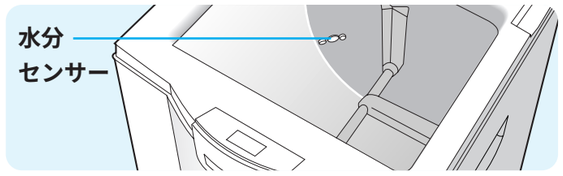
処理槽内のお手入れのしかた





●**オーバーフローダクト・オーバーフロー窓に生ごみのカス等がつまっている場合は、細い棒（割りばし）等をご使用して取り除いてください**
●**処理槽内に大きな生ごみの未分解物が目立つ場合は、ミキシングフィンに気をつけて、手袋をして小さいスコップを使用して取り除いてください**

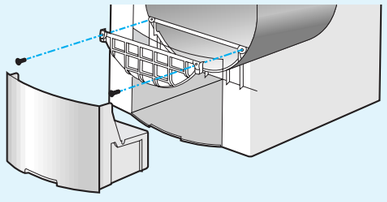
水分センサーお手入れのしかた



●**水分センサー（処理槽内の金属凸部）にチップが付着している場合は割り箸などを利用して取り除いてください**

ミキシングフィンに気をつけて手袋をして作業してください
水分センサーを傷つけないようにご注意ください

バイオチップの取り出しかた



●ネジをはずしチップ取出ふたをはずして取り出すことができます。
●チップ取出ふたを取り付けるときは付近に固まっているチップがあれば棒等でくずしてから、ネジで確実に取り付けてください。
●取り出したバイオチップ・バイオボールは可燃ごみとして処分してください。
●再使用時は、新しいバイオチップ・バイオボールおよびバイオ立上げ剤をお買い求めの上、9～10ページの要領で使い始めてください。

■バイオチップの交換が必要な場合

日常の正しい生ごみの投入のしかたを守ってバイオのパワーが十分に発揮できる環境を保てば基本的にバイオチップの交換は必要ありませんが、以下の場合は全量交換が必要です。
●1ヵ月以上ご使用にならないとき（引っ越し、長期不在のとき）
●生ごみや水の入れすぎなどでバイオチップが大きなかたまりになり、くずすことができないとき
●別売のPH安定剤、バイオチップ分解促進剤を使用してもにおいが強いままのとき

別売品 入れ替え用バイオチップ・バイオボールおよびバイオ立上げ剤をお求めの際は、お買い求めの販売店または、お近くのナショナル製品取扱店にてお求めください

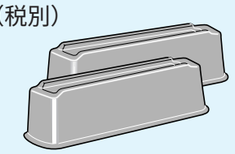
未分解物や固まりを取り除いた後、バイオチップが減った場合は、入れ替え用バイオチップを補充して下さい。

■別売品

お買い求めの販売店または、お近くのナショナル製品取扱店にてお求めください

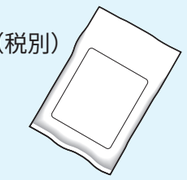
設置するとき

専用架台
品番TK40104
希望小売価格　2,000円（税別）

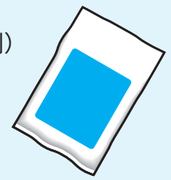


においが気になるとき

PH安定剤（2袋入）
品番：TK40002
希望小売価格　1,000円（税別）

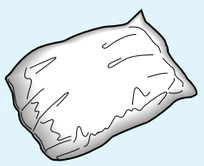


バイオチップ分解促進剤（2袋入）
品番：EH43102L
希望小売価格　1,000円（税別）

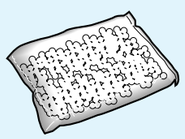


追加・交換するとき

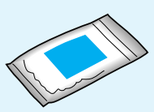
入れ替え用バイオチップ
（約10L×1袋）
品番：EH43103L
希望小売価格　1,200円（税別）



バイオボール
（約750mL×4袋）
品番：TK40101P
希望小売価格　2,400円（税別）

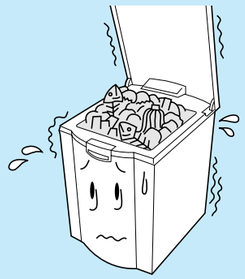


バイオ立上げ剤（約120g×2袋）
品番：TK40202
希望小売価格　500円（税別）



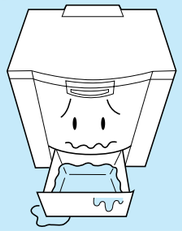
■故障かな？と思ったとき

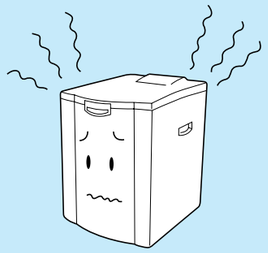
表示ランプが点灯・点滅した場合は、点検・保守を行ってください（☞5、6ページ）

このようなとき	チェックしてください	直しかた
電源ランプが点灯しない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください
異常な音がする	内部に異物がからまっていませんか	電源プラグを抜いてから安全を確認して異物を取ってください（☞22ページ）
	本体設置が正しくされていますか	本体ががたつかずできるだけ水平に設置し直してください
撹拌しない（撹拌羽根が動かない）	ふたが開いていませんか	ふたを閉めてください（ふたが閉まると自動的に動く構造です）
	トレーが本体からはずれていませんか（トレー点検ランプが点滅していませんか）	トレーを奥まで確実にセットしてください（トレーが確実にセットされるとトレー点検ランプが消灯して自動的に動く構造です）
生ごみが分解されずに多量に残っている 	ふたが開いていませんか	ふたを閉めてください（ふたが閉まると自動的に動く構造です）
	バイオチップ・バイオボールがカラカラの乾燥状態になっていませんか	水を約500mL程度均一に散水してください
	生ごみの投入量が多すぎませんかまたは水切りが不十分ではありませんか	生ごみの投入を2～3日やめてください
ふたを開けたら本体から水蒸気が出た	外気温が下がる冬期は特に本体内部温度と外気温との温度差があるためです	異常ではありません

ご注意
- バイオチップ・バイオボールが新しい間（1週間程度）コスレ音（撹拌時にキューという音）がしますが異常ではありません
- 外気温が下がる冬期は、分解処理が遅くなりやすいため、通常より少なめに投入してください

故障かな？と思ったとき

このようなとき	チェックしてください	直しかた
トレーに水が入る（下から水がもれる） 	生ごみの投入量が多すぎませんかまたは水切りが不十分でありませんか	もれた水をふきとり生ごみの投入を2～3日やめてください
	バイオチップ・バイオボールがあまり乾燥していないのに水を入れませんでしたか	
	水を入れるとき、均一に入れましたか	じょうろなどで均一に散水してください
トレーにコンポスト処理物がたまっていないのにトレー点検ランプが点灯する	満杯センサーが汚れていませんか	満杯センサーの汚れを拭き取ってください（☞21ページ）
	オーバーフロー窓が詰まっていませんか	生ごみのカスを取り除いてください（☞22ページ）
	オーバーフローダクト出口に処理物が引っ掛かっていませんか	処理物を取り除いてください
チップがべたついている、または団子状になっている	水分の多い生ごみを多量に投入していませんか	チップがべたついている場合は数日間投入を控えてください
		団子状の固まりを小さなスコップ等でほぐしてください
虫が処理槽内に発生している	生ごみの投入量が多すぎませんかまたは水切りが不十分でありませんか	生ごみの投入を2～3日やめてください
トレーにコンポスト（処理物）が落ちてない	オーバーフローダクト･オーバーフロー窓につまっていませんか	つまっているコンポスト（処理物）を取り除いてください（☞22ページ）
ふたワンタッチボタンを押してもふたが開かない	ふたワンタッチボタンのすきまに異物や生ごみ･バイオボール･バイオチップが入っていませんか	異物を細い棒（綿棒等）を使用して取り除いてください 取り除けない場合は掃除機で吸って取り除いてください
ふたが閉まらない	処理槽内に大きな生ごみの未分解物が残っていませんか	電源プラグを抜いてから安全を確認して異物を取り除いてください

このようなとき	チェックしてください	直しかた
ふたを閉めた状態で普段より強いにおいがする 	電源プラグがコンセントから抜けていませんか	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください
	ふたやトレーがきっちり閉まっていますか	ふたやトレーをきっちり閉めてください
	異物のかみこみで撹拌が出来なくなっていませんか	電源プラグを抜いてから安全を確認して異物を取ってください
	生ごみの投入量が多すぎませんか	生ごみの投入を2～3日やめてください
	水分の多いごみや水切り不足でバイオチップがベタついていませんか	
	においの強い生ごみを投入しませんでしたか	一時的ににおいがする場合がありますが、異常ではありません
	バイオチップ・バイオボールがカラカラに乾燥しているため水を加えませんでしたか	
	分解できないものが残っていませんか	電源プラグを抜いてから安全を確認して異物を取り除いてください
	でんぷん質（ごはん・うどん）の割合が多くありませんか	しばらくでんぷん質の投入を中止してください
	バイオチップ・バイオボールが減っていませんか	バイオボールを追加してください（☞19ページ）
	バイオボールの追加時期（3ヵ月に1回）が過ぎていませんか	バイオボールを追加してください（☞19ページ）

※ 上記の処理を行っても、多量の生ごみが残ったり、においが強いままなどの場合は、バイオチップ促進剤またはPH安定剤をご使用ください（☞15ページ）
なおにおいが気になる場合は、バイオチップ及びバイオボール全量を新しいものに交換してください（☞22ページ）

上記の点検でなお異常がある場合は

破損した	**お願い** この様な場合、事故防止のため必ず販売店に点検・修理を依頼してください

定格・仕様

品番		TK400-H
名称		1200タイプ
適用		一般家庭用屋外設置
使用地域		一般地用
電源		AC 100V　50／60Hz
消費電力		最大65W
電源コード長さ		約2m
標準処理能力		1日1.2kgまで
外形寸法		幅350×奥行440×高さ535mm
質量（重量）		本体約10kg
運転		ふたを閉じた時（生ごみ投入時）約2分間撹拌、その後は1～2時間毎に約1分間撹拌
撹拌装置	回転数	2回転／分
	回転方向	正・逆転繰り返し
	保護装置	ふた及びトレー開放時の自動停止機能付
加熱部保護装置		温度ヒューズ

保証とアフターサービス(よくお読みください)

保証書について

この商品には保証書を別途添付しております。
保証書は販売店でお渡しいたしますから所定の事項の記入及び記載内容をご確認いただき大切に保管してください。
保証期間はお買い上げ日より1年間です。(一般家庭用以外に使用された場合は除きます)
ただし、バイオチップ・バイオボール・バイオ立上げ剤は消耗品ですから保証期間内でも有料とさせていただきます。

補修用性能部品の保有期間

当社はこの生ごみイーターの補修用性能部品を製造打切後5年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

サービスを依頼される前に、この取扱説明書の24～26ページに従ってご確認いただき、なお異常がある場合は、ご使用を中止し必ず電源プラグを抜き、バイオチップ・バイオボール・バイオ立上げ剤を取り除いてからお買い上げの販売店にご依頼ください。

●保証期間中は

お買い上げの販売店まで、品名、品番、お買い上げ日、故障の状況（できるだけ具体的に)、ご住所、お名前、電話番号、修理ご希望日をご連絡ください。保証の規定に従って販売店が修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

松下電工お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へお申し付けください。

・転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、下記窓口へ

修理・部品などのご相談は「修理ご相談センター」

ナビダイヤル(全国共通番号) ハイ 0570-081-365 365日

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。
【受付時間:月～金9:00～19:00土・日・祝9:00～17:00】

ただし、携帯電話・PHS等は下記の電話番号へおかけください。

○札幌修理ご相談センター ☎011-707-7210
〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目5番地3 札幌千代田ビル2階
北海道松下電工テクノサービス(株)

○東京修理ご相談センター ☎03-5392-7190
〒174-0041 東京都板橋区舟渡1丁目12番11号 ヘリオスⅡ2階
東部松下電工テクノサービス(株)

○名古屋修理ご相談センター ☎052-551-7900
〒450-8611 名古屋市中村区名駅南2丁目7番55号 松下電工名古屋ビル北館8階
中部松下電工テクノサービス(株)

○大阪修理ご相談センター ☎072-878-8999
〒575-0041 大阪府四条畷市蔀屋新町3番41号
近畿松下電工テクノサービス(株)

○福岡修理ご相談センター ☎092-622-0531
〒812-0041 福岡市博多区吉塚5丁目5番32号
西部松下電工テクノサービス(株)

商品・お取扱いなどのご相談は「お客様ご相談センター」

ナビダイヤル(全国共通番号) ハイ 0570-081-713 ナイス

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。
【受付時間:月～金9:00～19:00土・日・祝9:00～17:00】

ただし、携帯電話・PHS等は下記の電話番号へおかけください。

○東日本お客様ご相談センター
☎ 03-3769-4820
FAX 03-3769-4984
〒108-8402 東京都港区芝4丁目8番2号

○西日本お客様ご相談センター
☎ 06-6946-2437
FAX 06-6941-4057
〒540-0001 大阪市中央区城見2丁目1番3号

ご注意 所在地、電話番号、受付時間などが変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0204

松下電工株式会社 リビング・ライフ事業部
〒522-8520 滋賀県彦根市岡町33